

3. データシートの作成

3-1. マスターシートの構成

Excel を立ち上げ「マスターシート」を開きます。

ダイアグラムを作成するには、各タクサに対応した基礎情報入力用の「PTOBUN」シート、「ptocode」シート、各タクサの生データ入力用の「プラント・オパールシート」、柱状図の生データ入力用の「柱状シート」が必要です。

3-2. 「PTOBUN」シートの入力方法

表 3-1 に「PTOBUN」シート書式を、図 3-1 に「PTOBUN」シートの入力例を示します。

表 3-1 「PTOBUN」シート書式

セル名	セルの色	使用可能文字	斜体	入力件数
分類名(学名)	黄緑色	半角	使用可能	10
分類名(和名)	黄緑色	全角、半角	使用不可	10

「分類名(学名)」、「分類名(和名)」に、それぞれに対応した分類名称を入れます。「分類名(学名)」に斜体で入力した文字は、D.M.D.上でも斜体で表示します(設定によっては、斜体が解除されることがあります。Ver.1 シリーズでは、斜体で入力しても標準の書体で表示していました。)

「分類コード」の「1～10」は、後述の「ptocode」シートの「1」～「10」のコードに対応します。

	A	B	C	D
1	分類コード	分類名(学名)	分類名(和名)	
2	1	Gramineae	イネ科	
3	2	other Grass	その他の草本	
4	3	Fern	シダ類	
5	4	Wood	木本	
6	5	sponge fragment	海面骨針	
7	6	glass bead	ガラス・ビーズ	
8	7			
9	8			
10	9			
11	10			
12				
13				
14				
15				

図 3-1 「PTOBUN」シートの入力例

3- 3. 「ptocode」シートの入力方法

表 3- 2 に「ptocode」シート書式を、図 3- 2 に「ptocode」シートの入力例を示します。

表 3- 2 「ptocode」シート書式

セル名	セルの色	使用可能文字	斜体	入力件数
コードNo.	水色	半角数字(1~999)	使用不可	999
学名	黄色	半角	使用可能	999
和名	黄色	全角、半角	使用不可	999
分類コード	黄緑色	半角数字(1~10)	使用不可	999

「コードNo.」に「1」～「999」までの任意の数(順不同)を入力します。

「学名」には、学名を入力します。「学名」に斜体で入力した文字は、D.M.D.上でも斜体で表示します(設定によっては、斜体が解除されることがあります。Ver.1 シリーズでは、斜体で入力しても標準の書体で表示していました。)

「和名」には「学名」に対応する「和名」を入力します。「学名」あるいは「和名」の必要がない場合には、空欄にしておくことも可能です。

「分類コード」には、「PTOBUN」シートで設定した分類名に対応する「1」～「10」のコードを入力します。

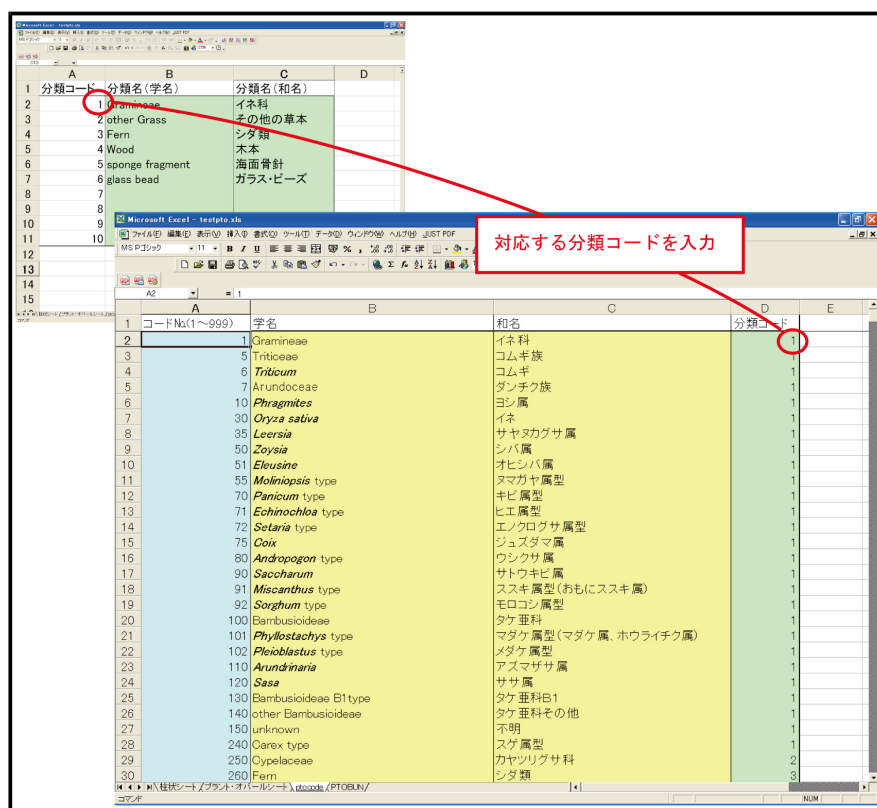


図 3- 2 「ptocode」シートの入力例および「PTOBUN」シートとの関係

3-4. プラント・オパールシートの入力方法

表 3-3 に「プラント・オパールシート」書式を、図 3-3 に「プラント・オパールシート」の入力例を示します。

表 3-3 「プラント・オパールシート」書式

セル名	セルの色	使用可能文字	斜体	入力件数
柱状図名	赤色	全角、半角	使用不可	1
試料No.	水色	半角	使用不可	500
深度上限	水色	半角数字	使用不可	500
深度下限	水色	半角数字	使用不可	500
タクサ名	白色	全角、半角	使用不可	252
コードNo.	黄色	半角数字	使用不可	252
カウント数	黄緑色	半角数字	使用不可	500×252

「柱状図名」には柱状図名(地点名)を入力します。

「試料No.」、「深度上限」、「深度下限」には、入力する試料の試料No.、採取深度の上限値、採取深度の下限値をメートル単位で入力します。

「タクサ名」、「コードNo.」には「ptocode」シートで指定したタクサ名(学名または和名)、タクサに対応するコードNo.を入力します。詳細は次ページをご覧ください。

「カウント数」には計数した実数を入力します(百分率は、描画時に自動計算します。)

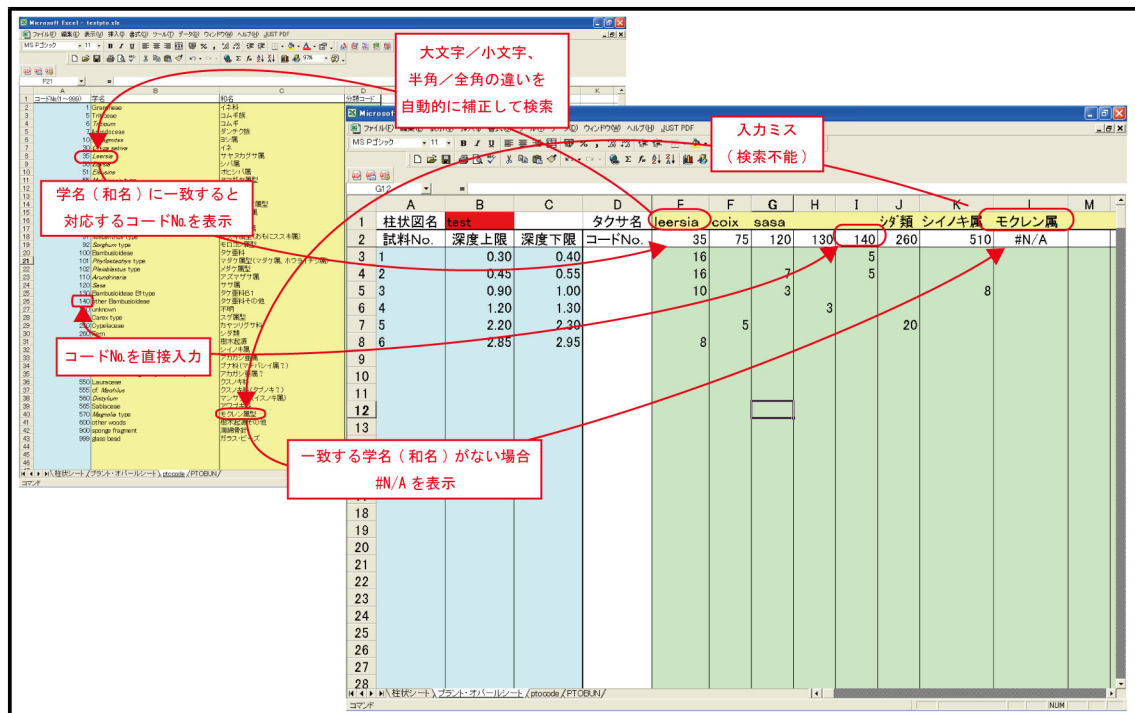


図 3-3 「プラント・オパールシート」の入力例および「ptocode」シートとの関係

「コードNo.」の入力には、「ptocode」シートで指定したタクサに対応する「コードNo.」を入力する方法と、「タクサ名」を入力して対応する「コードNo.」を表示する方法があります。

「コードNo.」を直接入力する場合、「タクサ名」を入力する必要はありません(「タクサ名」はExcelで「コードNo.」を表示させるためのもので、D.M.D.では読み込みません。)

「タクサ名」を入力する場合、タクサ名が「ptocode」シートの「学名」または「和名」と一致すれば、大文字/小文字、半角/全角の違いがあっても「コードNo.」が表示されます。

入力ミスでタクサ名が一致しない場合には、「コードNo.」に#N/Aが表示されます。入力したタクサ名をチェックして、再度入力を行ってください。

「コードNo.」にコードNo.も#N/Aも表示されない場合は、何らかの原因で該当するセルの数式が変更されています。「コードNo.」に正常に動作するセルをコピーしてお使いください。

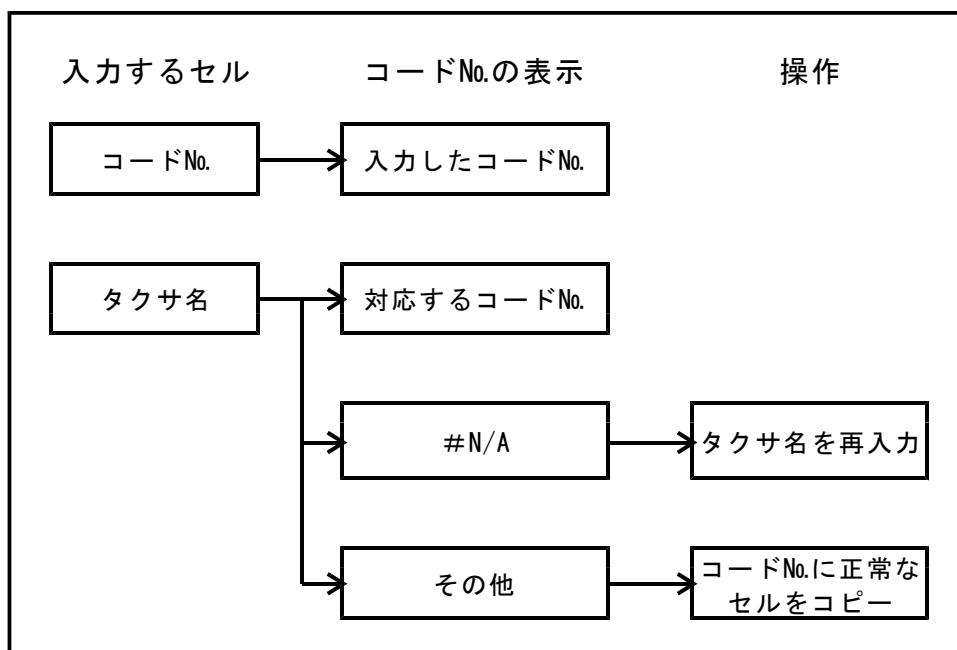


図 3-4 「コードNo.」の入力方法

3- 5. 柱状シートの入力方法

表 3- 4 に「柱状シート」書式を、図 3- 5 に柱状シートの入力例と打ち出し柱状図を、図 3- 6 に柱状図記号一覧表を示します。

表 3- 4 「柱状シート」書式

セル名	セルの色	使用可能文字	斜体	入力件数
深度	水色	半角数字	使用不可	200
コード	黄緑色	4桁の半角数字	使用不可	200

「深度」には、柱状図の下限值(深度)をメートル単位で入力します。

「コード」は図 3- 6 の柱状図記号一覧表を参照し、4桁のコード(半角数字)の組合せで入力してください。

該当する項目がない桁には「0」を入力してください(たとえば、表土は「1000」、貝殻混入シルト質粘土は「0124」、シルト質細粒砂は「0320」です。)

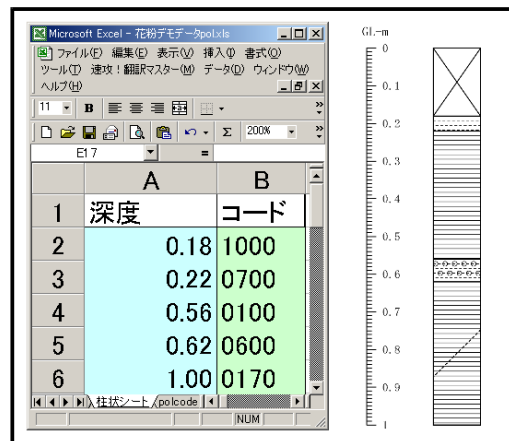


図 3- 5 「柱状シート」の入力例と打ち出し柱状図

コード文字	4桁目	3桁目	2桁目	1桁目
1	表土	粘土	粘土質	礫混入
2	埋土	シルト	シルト質	玉石混入
3	崩積土	細粒砂	砂質	腐植物混入
4		中粒砂	礫混り	貝殻混入
5		粗粒砂	粘土混り	貝・腐植物混入
6		砂礫	シルト混り	浮石混入
7		砂	砂混り	転石
8		火山灰	凝灰質	
9		腐植土	腐植質	

図 3- 6 柱状図記号一覧表(沖積層)

3- 6. データファイルの保存方法

入力が終わりましたら、名前を付けて保存します(「ファイル」→「名前を付けて保存」)。保存データの最後には識別文字をつけます。識別文字は半角小文字で「pto.xls」です(完全版の識別文字は「dmd.xls」です。)

例-「test」という名前のファイルを作る場合「testpto.xls」としてください。

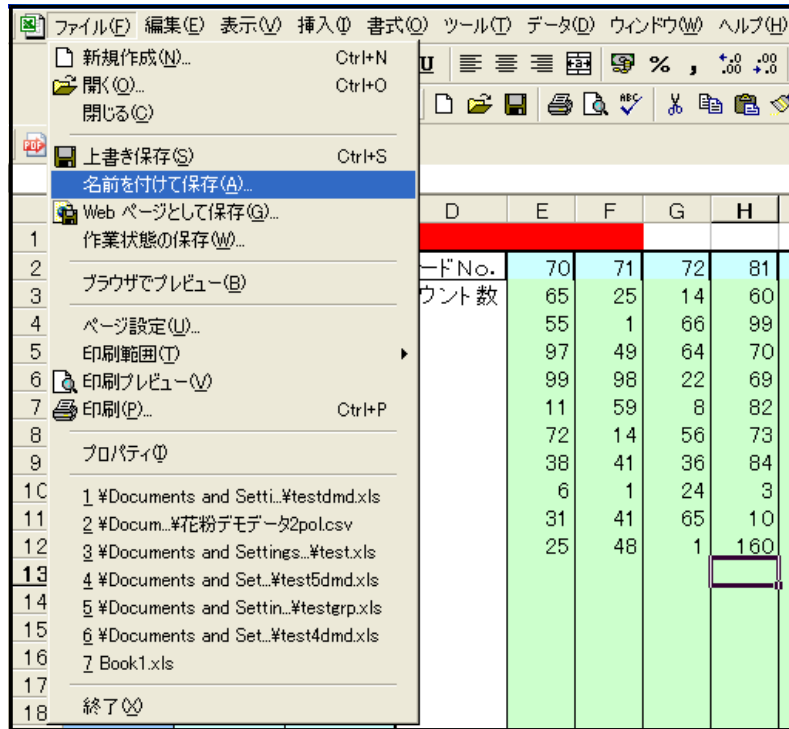


図 3- 7 「ファイル」画面

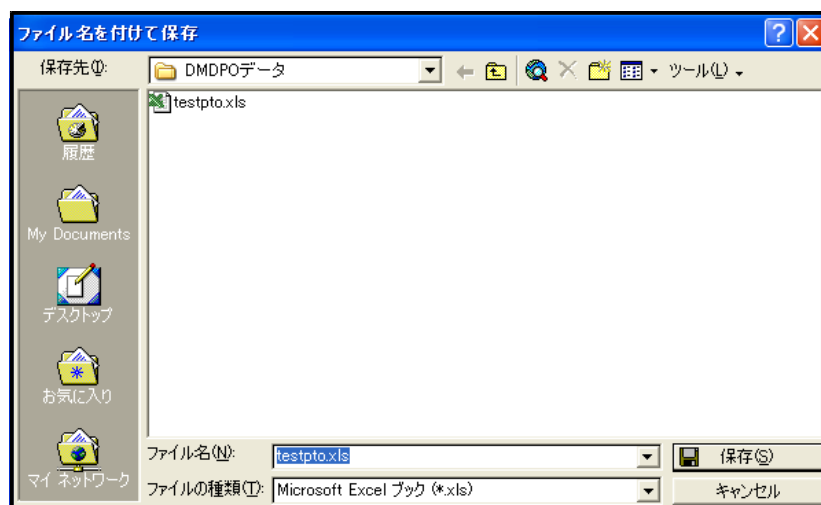


図 3- 8 「名前を付けて保存」画面

4. 出カイメージの表示

①インストールしたフォルダ「DMD」の中から、アプリケーションプログラム「DMD.exe」を実行します(図 4-1)。

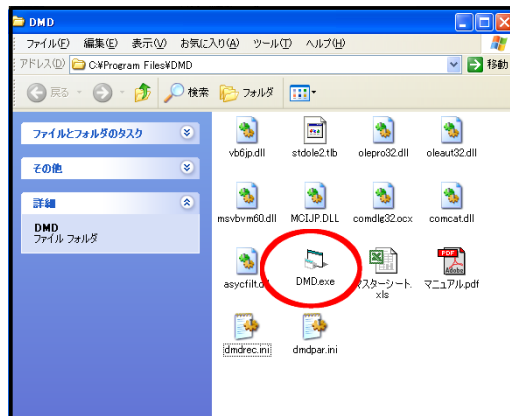


図 4-1 フォルダ「DMD」画面

②「パスワードの入力」画面(図 4-2)が表示されます。あらかじめ登録されたパスワードを入力してから「OK」をクリックすると初期画面が表示されます。

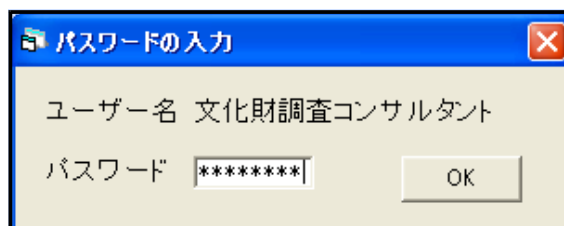


図 4-2 「パスワードの入力」画面

③「ファイル」→「開く」(図 4-3)をクリックすると「ファイル選択」画面(図 4-4)が表示されます。

「最近開いたファイル」でファイルを選んだ場合、次に進みます。選択したダイアグラムの中に、カウント総数が0になる試料がある場合は、図 4-6のダイアログが表示されます。ない場合は、「表示選択」画面(図 4-7)が表示されます。完全版の場合は、「ダイアグラム選択」画面(図 4-5)が表示されます。

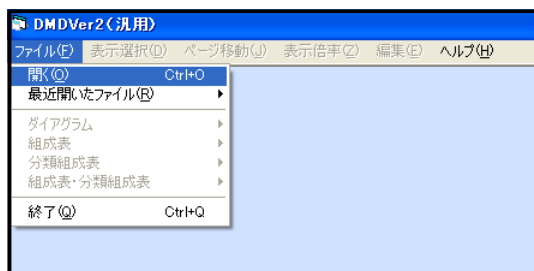


図 4-3 「メニュー」画面

④ファイルを選びます。「開く」をクリックすると、次に進みます。選択したダイアグラムの中に、カウント総数が0になる試料がある場合は、図 4-6 のダイアログが表示されます。ない場合は、「表示選択」画面(図 4-7)が表示されます。完全版の場合は、「ダイアグラム選択」画面(図 4-5)が表示されます。

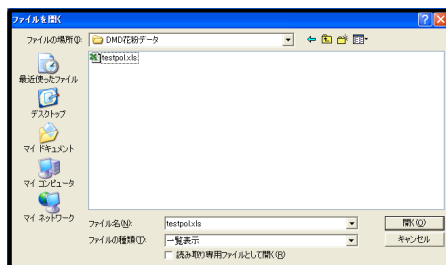


図 4-4 「ファイル選択」画面

⑤表示するダイアグラムを選択し、「OK」をクリックすると、次に進みます。選択したダイアグラムの中に、カウント総数が0になる試料がある場合は、図 4-6 のダイアログが表示されます。ない場合は、「表示選択」画面(図 4-7)が表示されます。

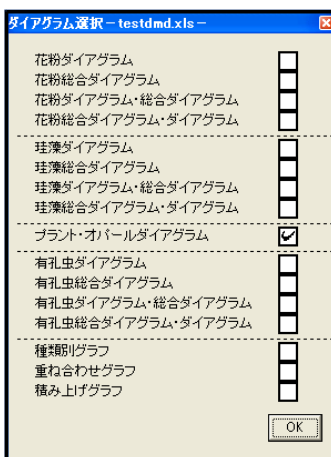


図 4-5 「ダイアグラム選択」画面(完全版)

⑥カウント総数が 0 の試料の試料No.の表示/非表示を選択します。該当する試料が複数ある場合、試料毎に選択する必要があります。全ての試料について選択を終えると、「表示選択」画面(図 4- 7)が表示されます。

「はい」を選択すると、試料No.を表示します。

「いいえ」を選択すると、試料No.を表示しません。

「キャンセル」を選択すると、ダイアグラムの読み込みを中止します。

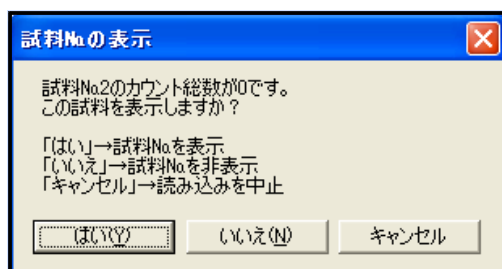


図 4- 6 試料No.の表示

⑦ダイアグラムの表示形式を選択し「OK」をクリックします。ダイアグラム(図 5- 1)が表示されます。詳細は「II. 表示選択」(P.15 ～)をご覧ください。

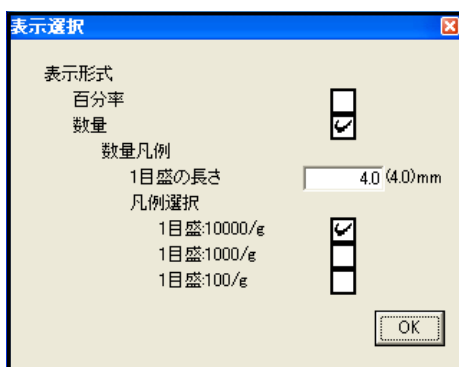


図 4- 7 「表示選択」画面